



# 第125 期中間 株主通信

2024年4月1日から2024年9月30日まで

日本特殊陶業株式会社

証券コード：5334

## 既存事業のさらなる強化と新規事業創出で 事業ポートフォリオ管理を推進し、社会的課題解決に貢献する

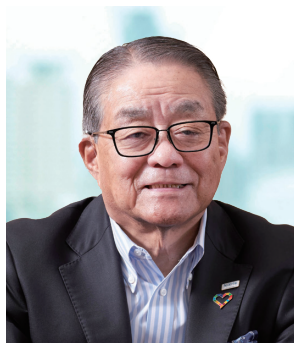
株主の皆さまには、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

### 当期の概況

2025年3月期第2四半期は、売上収益3,245億87百万円、営業利益722億92百万円となり、前年同期比で増収増益、売上収益、営業利益ともに過去最高となりました。インフレに伴う価格転嫁の着実な実施と円安基調であったことが増収増益の要因となりました。また、2025年3月期通期連結業績予想については、売上収益6,530億円、営業利益1,300億円に上方修正しました。自動車関連事業において一部地域で補修用製品が期初計画からの販売増加を見込んでいることや、為替レートが想定よりも円安に推移していることから、2024年4月30日に公表した業績予想を上回る見込みです。

### 内燃機関事業の盤石化とコア技術を活かした 新規事業の創出を推進

事業ポートフォリオ管理の推進に向けて、既存の内燃機関事業では、さらなる効率化を追求しキャッシュ創出の最大化を推進していきます。また、SPEをはじめとする他の既存事業の拡大や、新規事業では、強みであるセラミック関連技術と親和性の高い領域・事業に焦点をあて、本格的な事業化に向けた投資および製品開発を進めています。中でも、すでに引き合いが多く寄せられ、生産を開始しているのが、セラミック素材の一つである窒化ケ



代表取締役会長

尾堂 真一



代表取締役社長  
社長執行役員

川合 尊

イ素を利用したEVのモーター用軸受けのベアリングボールで、EVの高電圧化に伴い需要が増えています。そのほか窒化ケイ素関連では、パワー半導体窒化ケイ素放熱基板などが有力な事業候補となっています。さらに、電気と水から水素を製造するSOEC（固体酸化物形電解セル）のデバイス開発や、SOECを介して生成された水素を活用したメタネーションなどの代替エネルギー事業の創出も進めています。こうしたコア技術を活かした新規事業の創出を推進し、内燃機関事業に次ぐ柱となる事業に育てていければと考えています。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## Segment Overview / セグメント別業績の概要

### 自動車関連

売上収益 **2,689 億円**

営業利益 **753 億円**

当事業は、新車組付け用製品の販売は落ち着きを見せたものの、補修用製品の販売は引き続き好調であり、前年同期比で増加しました。加えて、インフレに伴う価格転嫁の着実な実施と円安基調であったことから売上収益を押し上げる結果となりました。

また、利益面では、為替を除いても前年度と比べ増益となりました。

この結果、前年同期と比べて当中間期の売上収益は8.9%アップの2,689億81百万円、営業利益は23.2%アップの753億88百万円となりました。

### セラミック

売上収益 **486 億円**

営業利益 **13 億円**

当事業は、売上収益では、半導体関連の事業については、第1四半期で客先での生産調整の影響を受けたものの、回復の兆しも見られています。

利益面では、収益性の改善に時間を要しており、セラミック事業全体で前年度と比べ落ち込む結果となりました。

この結果、前年同期と比べて当中間期の売上収益は4.0%アップの486億95百万円、営業利益は40.8%ダウンの13億63百万円となりました。

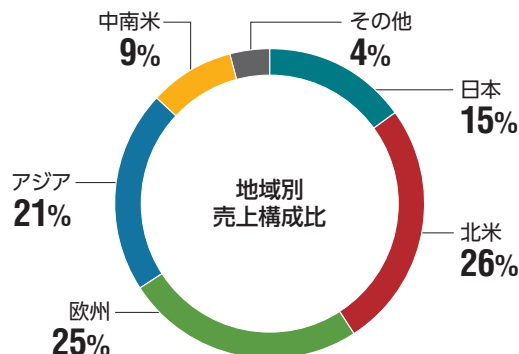
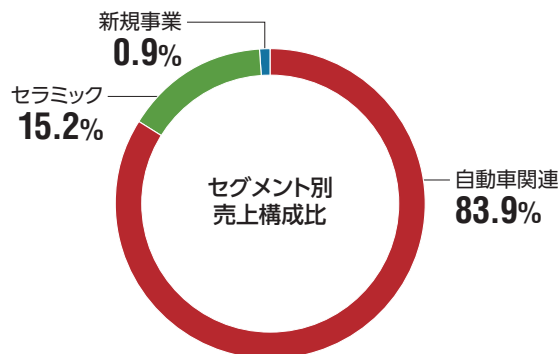
### 新規事業

売上収益 **30 億円**

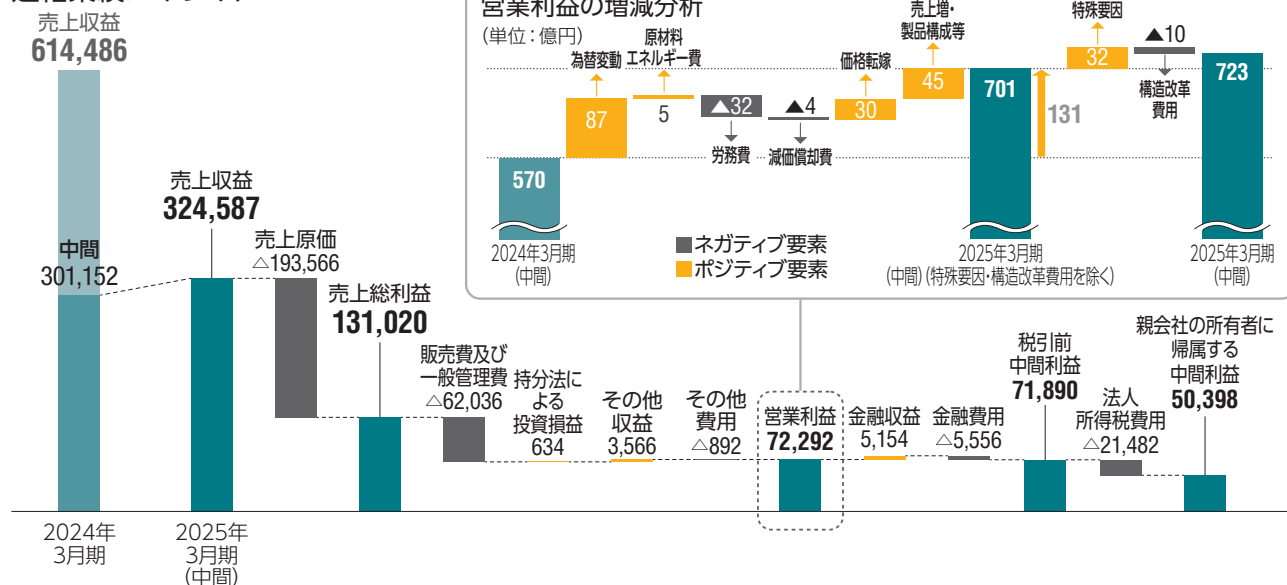
営業損失 **59 億円**

新規事業については、当中間期の売上収益は1.7%ダウンの30億44百万円、営業損失は59億60百万円（前年同期は67億11百万円の営業損失）となりました。

※他に、「その他」の区分として、売上収益42億48百万円、営業利益15億円があります。※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。



## 連結業績ハイライト (単位：百万円)



※上記グラフは非支配持分(9百万円)の表示を省略しております。

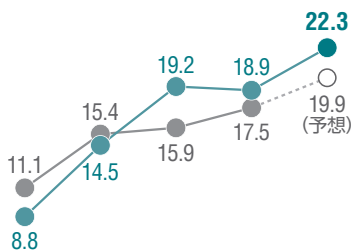
## 通期予想

2025年3月期 (単位：百万円)

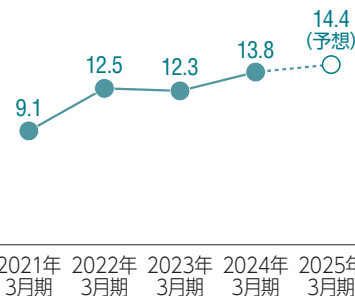
|                  |         |
|------------------|---------|
| 売上収益             | 653,000 |
| 営業利益             | 130,000 |
| 税引前利益            | 135,000 |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 95,000  |

## 営業利益率 (単位：%)

● 中間 ○ 期末

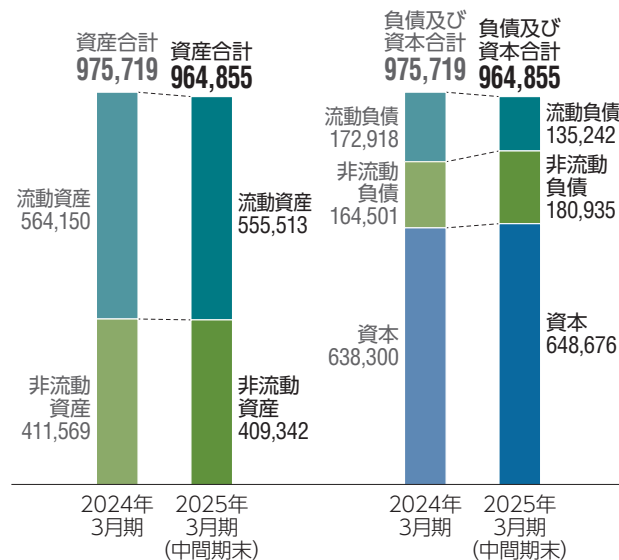


## ROE (単位：%)

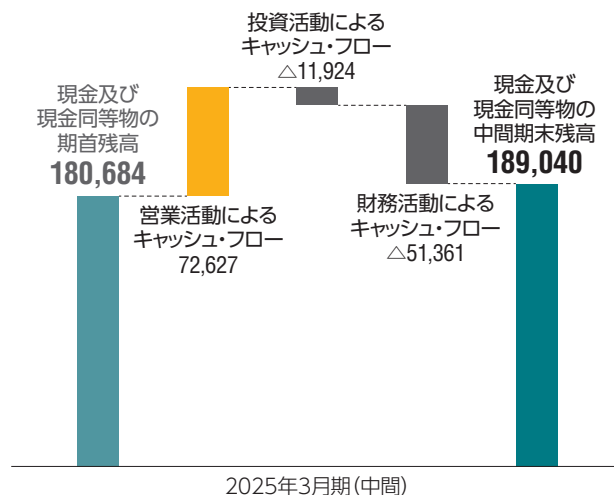


※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結財政状態計算書 (単位：百万円)

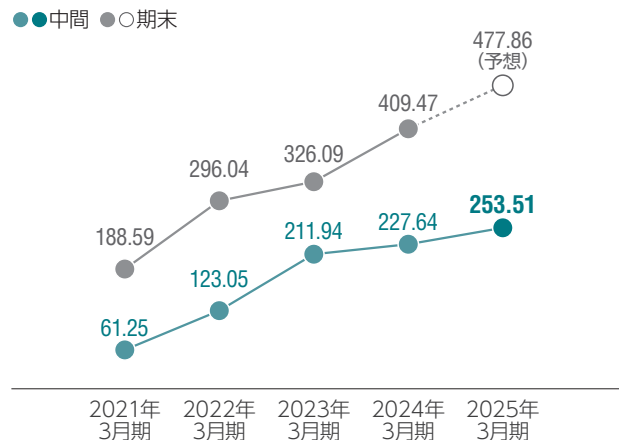


## 連結キャッシュ・フローの概要 (単位：百万円)

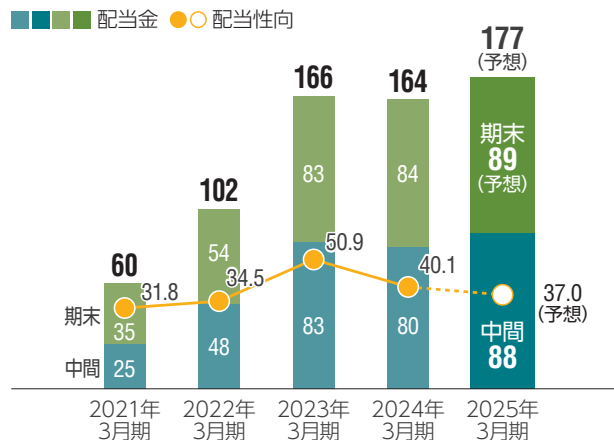


※連結キャッシュ・フローの概要は現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額(△1,021百万円)の表示を省略しております。

## 基本的1株当たり当期利益 (単位：円)



## 配当金 (単位：円)・配当性向 (単位：%)



## 水素社会・炭素循環型社会の実現に向け 「水素の森」プロジェクトを始動

当社は「水素と炭素循環を、これからの地球へ。」をコンセプトとした「水素の森」プロジェクトを開始しました。ベンチャーキャピタルのグローバル・ブレイン株式会社（代表取締役社長 百合本安彦）と共同で設立したコーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）ファンドを通じて、水素・炭素循環に関連するスタートアップへの投資支援を行うとともに、同テーマに特化した敷地総面積5,000㎡の実証フィールドを当社小牧工場（愛知県小牧市）内に設置し、スタートアップの技術開発・成長支援を行います。



実証フィールド外観イメージ

### なぜ「水素の森」プロジェクトを発足したのか？

カーボンニュートラルの実現が世界共通の重要課題となる中、CO<sub>2</sub>を排出しない水素への注目が高まり、また、CO<sub>2</sub>の分離・回収・利活用による炭素循環の取り組みも進んでいます。

当社グループとしても「2030 長期経営計画 日特BX」において「環境・エネルギー」を注力領域の一つに掲げ、水素利用や炭素循環の担い手となるSOECやSOFCなどのデバイス、またメタネーションを含む地域CCU<sup>®</sup>などのソリューション開発といった取り組みを進めています。

水素社会・炭素循環型社会の実現を促進するためには、自社の事業領域に限らず、多様なアイデアを持ったスタートアップへの投資や成長支援が必要だと考えています。加えて、当社グループのアセットを活用した事業化、共同開発といったオープンイノベーションの可能性も見込み、「水素の森」プロジェクトを開始しました。

### 「水素の森」プロジェクトが目指す姿

当プロジェクトが目指すのは、「人と地球のため、持続可能なエネルギーと資源による、明るい未来を誰もが享受できる社会」です。この実現に必要な技術やサービス、ビジネスへの投資をはじめ実証フィールドの提供による早期開発・実装を支援することで、水素・炭素循環関連産業の発展に貢献していきます。



「水素の森」プロジェクト WEBサイト <https://nitterra-suisonomori.com>

# 新会社「株式会社Niterrra AQUA」設立 ～センサ技術を応用し水質管理に着目した陸上養殖事業へ挑戦～

## 新会社設立の背景

当社は、世界が抱える課題である食糧問題、その中でも水産資源に焦点をあて、持続可能な社会を実現することに貢献できる事業として、これまで当社で培ってきたセンサ技術を応用し、水質管理に着目した「えび陸上養殖事業」への挑戦を決めました。事業化をさらに加速させるため、独立自営の精神のもと、スピード感と柔軟性を持ち、夢を語り、それを実現したい強い意志を持つメンバーでの新会社設立に至りました。

## 新会社の事業概要

陸上養殖の課題である水質管理に着目し、水質をセンシングすることで水質の状態を把握し、その状態に合わせた養殖作業指示を行うことで、陸上養殖未経験の顧客においても「えび陸上養殖」を開始できるトータルソリューションシステムを提供予定です。

本システムは、工場、倉庫等の空きスペースを有効活用し設置できる大きさであるため、自社資産の有効活用によりイニシャルコストを抑えた状態で事業を開始することができます。さらに、工場排熱、バイオマス熱、温泉熱、太陽光発電等の自社資産があれば、えび陸上養殖のランニングコストの多くを占める飼育水の温調コストも抑えることが可能になります。

本システムを使用することで、安心・安全・高鮮度・味設計された「うるみえび」を養殖することができます。

## 今後の事業展開

今後は協力企業と事業内容のPoC（概念実証：Proof of Concept）を開始するとともに、「うるみえび」のブランド認知活動も同時に進めていきます。

### うるみえび<sup>※</sup>

本システムでの徹底した水質管理と育成ノウハウの活用により鮮度と美味しさを実現した国産えび。新鮮で潤いのある味わい深いえびであることを感じていただけるよう名付けました。

※当社の登録商標

うるみえび



Niterrra AQUA WEBサイト <https://niterrra-aqua.com>

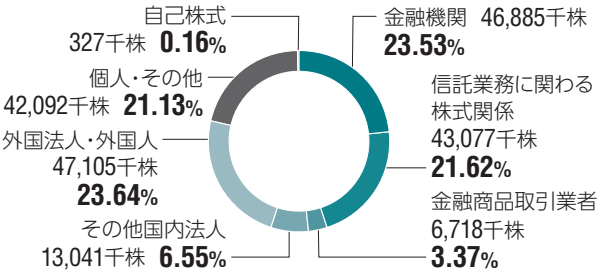


|            |              |
|------------|--------------|
| 資本金        | 478億69百万円    |
| 発行可能な株式の総数 | 390,000,000株 |
| 発行済株式の総数   | 199,247,720株 |
| 株主数        | 120,750名     |
| 大株主        |              |

| 株主名                         | 所有株式数<br>(千株) | 持株比率<br>(%) |
|-----------------------------|---------------|-------------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社<br>(信託口) | 26,274        | 13.20       |
| 明治安田生命保険相互会社                | 16,794        | 8.44        |
| 第一生命保険株式会社                  | 16,752        | 8.42        |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)          | 12,138        | 6.10        |
| 全国共済農業協同組合連合会               | 4,209         | 2.11        |
| JP MORGAN CHASE BANK 385632 | 3,844         | 1.93        |
| 日本生命保険相互会社                  | 3,563         | 1.79        |
| 野村信託銀行株式会社(投信口)             | 2,864         | 1.44        |
| 日特協力会持株会                    | 2,770         | 1.39        |
| TOTO株式会社                    | 2,756         | 1.38        |

持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



|               |                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度          | 4月1日～翌年3月31日                                                                                                                                                                                                       |
| 期末配当金受領株主確定日  | 3月31日                                                                                                                                                                                                              |
| 中間配当金受領株主確定日  | 9月30日                                                                                                                                                                                                              |
| 定時株主総会        | 毎年6月                                                                                                                                                                                                               |
| 株主名簿管理人       | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                                                                                      |
| 特別口座の口座管理機関   |                                                                                                                                                                                                                    |
| 同連絡先<br>(郵送先) | 東京都府中市日鋼町1-1<br>TEL 0120-232-711(通話料無料)<br>〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                                                          |
| 上場証券取引所       | 東京(プライム)・名古屋(プレミアム)                                                                                                                                                                                                |
| 公告の方法         | 電子公告によりおこないます。<br>公告掲載URL<br><a href="https://www.ngkntk.co.jp/ir/public_notice/">https://www.ngkntk.co.jp/ir/public_notice/</a><br>(ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって<br>電子公告による公告をすることができない場合は、<br>日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。) |

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意願います。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

【株式に関するマイナンバーお届のご案内】

株式の税務関係の手続きには、マイナンバーの届出が必要です。まだお届出をされていない株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

**[Nittera Report 2024]を発行しました**



詳しい内容は  
こちらからご覧いただけます。

[https://www.ngkntk.co.jp/ir/library/integration\\_report.html](https://www.ngkntk.co.jp/ir/library/integration_report.html)

